

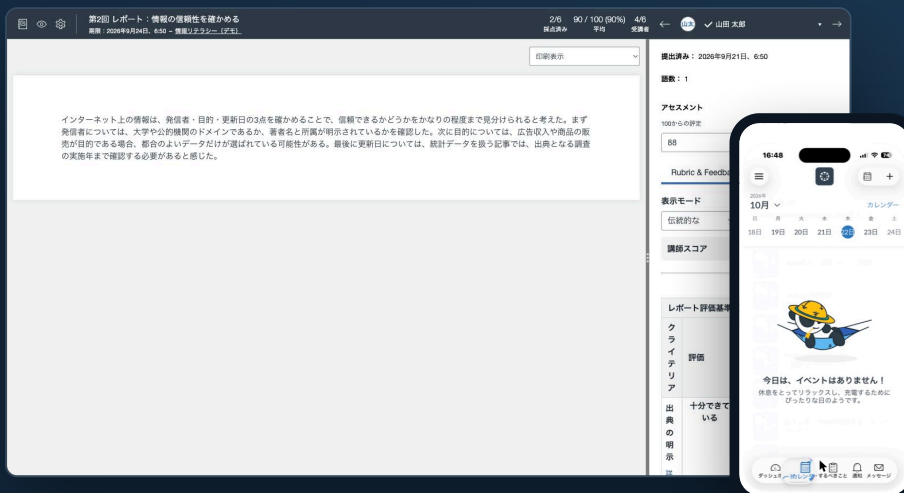
CANVAS LMS SaaS

Canvas LMS SaaS

by ヨウム

世界とつながる LMS を、日本の大学のやり方で。

世界の大学で選ばれている Canvas LMS を、Instructure 社が運用するクラウド (SaaS) のまま。日本の大学に欠かせない機能は、ヨウムの youmu perch シリーズが足します。移行ツール、LTI 1.3 連携、日本語マニュアル、モバイルまで。製品・技術・日本仕様は、日本ディストリビューターのヨウムが国内で担当します。



youmu perch シリーズ 8 製品が、
日本の大学の運用を補います

世界標準のまま

本体は改造しない。
新機能は自動で届く

日本の運用に合わせる

perch シリーズ 8 製品で
日本独自の要件を補う

移行も、つなぐのも

移行ツールと
LTI 1.3 の実装経験

迷わせない

3 方式の日本語マニュアルと
モバイルアプリ

youmu biz.

Canvas LMS, customized for Japan

2026 年 10 月版

世界の大学が選んだ LMS を、そのまま日本で。

Canvas LMS は、米 Instructure 社が開発・運用する学習管理システム (LMS) です。SaaS 版では、サーバーの保守もバージョンアップの計画も要りません。世界の大学と同じ本体に、同じ日に新機能が届きます。

50%

北米 (米国・カナダ) 高等教育の
在籍者ベースの LMS シェア (2024
年末)¹

105,400+

日本大学が全学で導入した Canvas の
利用者数²

0回

大学側で行うバージョンアップ作業。
Instructure 社がクラウドで運用し、
新機能は自動で届きます

Canvas は、iPhone のようなものです。

ガラケーからスマートフォンに替えたとき、日本に
合わせて本体を作り替えたりはしませんでした。言語と時刻を
日本に設定し、欲しいアプリを足しただけです。日本人のための
アプリが増えるにつれ、いつの間にかガラケーは
忘れられていきました。

Canvas も同じです。本体は世界標準のまま、日本の大学に
必要なところは、国際標準の LTI 1.3 でつながるアプリが
足します。

スマートフォンでいえば

Canvas LMS SaaS では

本体 (iPhone)

Canvas LMS
世界共通の本体。改造しない

App Store の規格

LTI 1.3
外部ツールをつなぐ国際標準

日本向けのアプリ
(おサイフ・乗換案内)

youmu perch シリーズ
日本の大学の運用を補う 8 製品

日本の販売・
サポート窓口

ヨウム
日本ディストリビューター。導入・
技術・日本仕様

日本に合わせて「本体を変える」のではなく、日本に必要なものを「足す」。

だから、世界のアップデートをそのまま受け取り続けられます。ローカライズのために本体を改造した LMS は、改造した日から世界と別の道を歩き始めます。

03 Canvas の便利さ
採点・ルーブリック・順路

04 世界と繋がる
LTI 1.3 エコシステム・Commons

05 日本独自の仕様
国産 LMS の要件と perch

06 移行ツール
manaba・WebClass・Moodle ほか

07 LTI 1.3 の経験
つなぎ方に、積み重ねがある

08 日本語マニュアル
辞書式・逆引き式・触ってみる

09 モバイル
学生用・教員用・保護者用アプリ

10 提供体制
Instructure × ヨウム

Canvas 単体でも、授業と採点はここまで変わる。

他の LMS ではプラグインの追加や個別開発で実現してきた範囲が、Canvas には最初から入っています。以下はすべて、追加の製品なしの Canvas の画面です。



採点が、「開いて・閉じて・次を開く」から解放される。

これまで: 提出ファイルを 1 つずつダウンロード
→ 画面の中でそのまま表示

これまで: 閉じて一覧に戻り、次を開く
→ 矢印で次の学生へ

これまで: 点数を表計算に転記
→ 入力すると評定表へ自動反映

これまで: コメントは文字だけ
→ 提出物に直接書き込み、音声・動画でも返せる

SpeedGrader — 左に提出物、右に点数・ループリック・コメント。矢印で次の学生へ。



ループリック

採点基準の表が学生にも見えます。教員はクリックで採点、学生は提出前に基準を讀めるので、成績の問い合わせが減ります。



モジュールと前提条件

「閲覧したら完了」「8 割取れたら次へ」。授業の順序を、教材の並びとして設計できます。



MasteryPaths

小テストの点数に応じて、次に配る教材を学生ごとにし分け。発展・標準・復習を自動で振り分けます。



評定表

未提出・提出済み・採点済みがクラス全体で一目で。遅延の減点ルール、成績の公開時期、CSV 入出力も。



アクセシビリティ

ハイコントラスト、ディスプレイ対応フォント、読み上げ(イマージブリーダー)。学生が自分で選べます。



アクセシビリティチェッカー

教材を書くエディタが、見出しの順序・代替テキスト・コントラストをその場で検査します。

画面はヨウムの検証環境 (Canvas LMS SaaS、2026 年 9 月) で撮影。氏名・提出物・点数はデモ用のデータです。

世界中の教育ツールと、同じ作法でつながる。

Canvas は、教育ツール接続の国際標準 LTI 1.3 で外部の製品とつながります。動画、出席、本人確認、そして日本向けの youmu perch シリーズも、同じ仕組みで Canvas の中に入ります。世界の大学と同じエコシステムに、日本の大学が加わります。

echovideo

講義の録画・配信、動画への書き込みと質問、視聴の分析

youmu perch.

日本の大学の運用を補う 8 製品 (5 ページ)

Qwicky

日本の授業の水準に合わせた出席管理

Canvas Commons

教材を学内に、世界に共有。他の先生の教材を取り込む

BSI

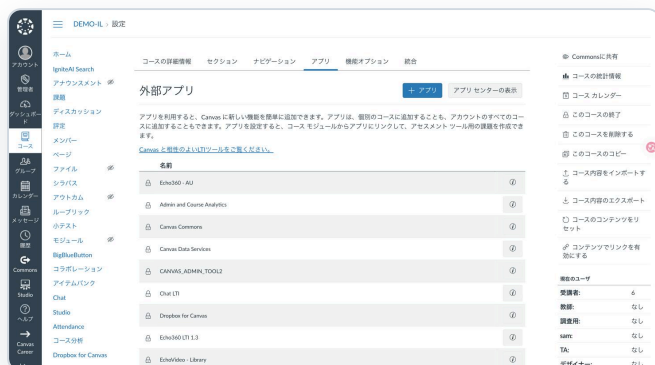
オンライン試験・課題の本人確認

Canvas モバイルアプリ

学生用・教員用・保護者用の 3 つの公式アプリ (9 ページ)

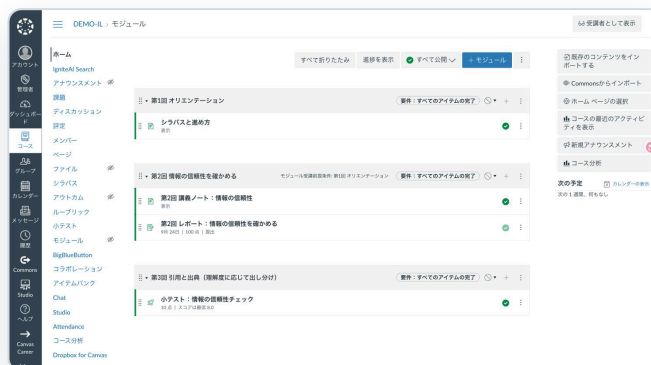


国際標準でつながる



必要な道具を、あとから足せる

コース設定の「アプリ」に、LTI で追加したツールが並びます。最初から全部をそろえる必要はありません。使いながら、必要なものを足していけます。



作った教材を、世界と共有する

Commons は Canvas に標準で付く教材リポジトリです。学内だけ、あるいは世界に公開して共有でき、他の先生が作った教材を自分のコースに取り込めます。

「国産 LMS にあって、Canvas にはないもの」は、 もうありません。

日本の大学で当たり前に求められてきたこと。そのひとつひとつに、Canvas の標準機能、ヨウムの youmu perch シリーズ、LTI 1.3 でつながる連携製品のいずれかで答えます。

日本の大学で求められること	Canvas LMS SaaS での答え	どう応えるか
移行する		
今の LMS の教材を、作り直さずに移したい	perchshift.	manaba・WebClass の教材を変換して取り込む (6 ページ)
日本語のマニュアルと、教職員の研修	perchguide.	辞書式・逆引き式・触ってみる方式 (8 ページ)
つなぐ・管理する		
教務システム (SIS) の独自形式のまま連携したい	perchadmin.	大学独自の形式を受け取り、差分だけを曜日・時刻指定で同期
同じ科目の別教室、教員の異動・復帰	perchadmin.	ブループリントへ自動紐付け、旧 ID と新 ID を名寄せ
日本の授業の水準での出席管理	Qwicky	LTI 1.3 で Canvas の中から出席を取る
学びを深める		
教材に書き込みながら読ませる精読課題	perchnote.	本文の余白への書き込みと、読んだ過程を成績表へ
学生どうしの相互評価	perchpeer.	評価する側の確かさも測り、成績表へ返す
語学の会話練習を、授業の外でも	perchcoach.	AI と英語で会話。詰まったら日本語で聞ける
学修成果の可視化と教学 IR ³	perchlenz.	LMS・SIS・アンケートを統合し、ダッシュボードと AI 分析へ
講義の録画と、動画を使った授業	echovideo	時間割どおりの自動録画、動画への質問とノート
オンライン試験の本人確認	BSI	LTI 1.3 で試験・課題の前に本人確認
止まっても続ける		
クラウドに接続できない日の授業	perchglide.	次の 2 授業日の教材を毎晩学内に用意し、当日に取り出せる

							
perchshift. 教材移行	perchguide. 日本語マニュアル	perchadmin. SIS 連携	perchnote. 注釈・精読	perchpeer. 相互評価	perchcoach. AI 英会話	perchlenz. 学修データ	perchglide. 停止時の備え

ヨウムが国内の大学訪問・要件調査で確認した項目について、対応する製品を示しています。個別の要件は導入前に確認します。perch シリーズは必要な製品から選び、あとから追加できます。

今の LMS から、授業を止めずに引っ越す。

移行元ごとに、移し方を用意しています。今の環境には手を触れず、教員が自分のペースで 1 コースから試せます。並行運用の期間を取り、新学期の前に一度使ってみてから切り替えられます。

manaba から Canvas へ 教材・レポート・小テスト・問題集・アンケートを変換して取り込み。 perchshift	WebClass から Canvas へ 教材と課題を、期限と配点を保ったまま移します。 perchshift	Moodle から Canvas へ Canvas 標準の「コースのインポート」でバックアップを取り込み、手直しを支援。 標準機能 + ヨウムの手順書	自前運用の Canvas から Canvas SaaS へ OSS 版などから正規の SaaS 版へ。コースと運用の引き継ぎを支援します。 移行パッケージ
--	---	---	---



perchshift による移行の 5 ステップ (manaba・WebClass の場合)。情報部門の一括作業や CSV の手加工は要りません。

移行元の項目	Canvas での移行先	補足
教材	ページ	URL はそのまま
埋め込みファイル	ファイル	PDF・Word・動画
レポート	課題	期限と配点を維持
テスト	小テスト	9 種類の問題形式を自動変換
問題集	問題バンク	
アンケート	小テスト	分岐は手動で調整

掲示板・ディスカッション・出席などは変換の対象外です。出席は Qwickly、学修データは perchlenz への載せ替えをご提案します。

FACULTY 教員が自分で移す

数十～数百コース規模。並行運用の期間に、コースごとに移行を判断したい大学へ。プレビュー、再実行、ロールバックに対応。

CAMPUS 全学で一斉に移す

1,000 コース以上。未着手のコースが分かる全学ダッシュボード、学部・年度単位の一括処理、移行ログと監査レポート。

移行の説明動画

URL を開くと、そのまま再生されます

youmu.biz/manaba
youmu.biz/manaba-support
youmu.biz/webclass
youmu.biz/webclass-support
youmu.biz/classroom
youmu.biz/canvas-lms-jp

manaba から移行して見える景色
 manaba からの移行サポート
 WebClass から移行して見える景色
 WebClass からの移行サポート
 Google Classroom からの乗り換え
 Moodle からの移行 (ページ内)

LTI 1.3 連携は、昨日今日対応したシステムとは経験が違う。

LTI 1.3 は、教育ツールを LMS につなぐための国際標準 (1EdTech 策定) です。「対応しています」と言うのは簡単ですが、本番の授業で安定して動かすには、ログイン・名簿・成績の受け渡しを細部まで作り込む必要があります。

LAUNCH

ログイン

Canvas の中から、追加のログインなしで起動。なりすましや使い回しを検証で弾く

ROSTER

名簿

コースの履修者と役割 (教員・学生) を Canvas から受け取る

GRADES

成績

ツールで付いた点数を、Canvas の評価表へ自動で返す

CONTENT

教材の配置

ツールの教材をモジュールや課題として Canvas に置く

ヨウムは、LTI 1.3 で製品をつくり続けています

- perchnote・perchpeer・perchcoach は、共通の LTI 1.3 基盤の上で本番稼働中
- その基盤を製品ごとに作り直さず、1 つの原本で検証・更新。起動時の検証項目も、製品をまたいで同じ水準に
- Canvas の検証環境で、起動・名簿・成績返却・音声まで実機で確認してから出荷

世界の LTI 製品を、日本の大学につないできました

- EchoVideo・Echo360・Qwicky・BioSig-ID の日本での導入と設定を担当
- 管理者の初期設定から、教員・学生の使い方まで日本語で整備
- Canvas の一次切り分けの手順 (問い合わせの言葉 → 原因の候補 → 確認の順序) を蓄積

Canvas LMS 本体

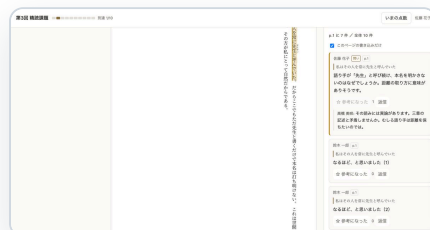
改造しない。Instructure 社のアップデートを、世界と同じ日にそのまま受け取る

LTI 1.3 / 標準 API

本体の「横」でつながる。外しても本体は元のまま

youmu perch・連携製品

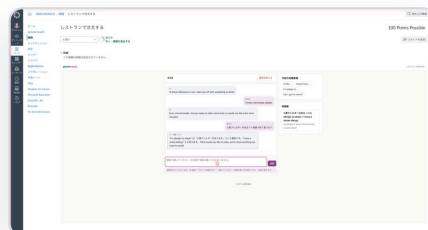
日本の大学に必要な機能。必要なものから選び、あとから足せる



perchnote — Canvas の課題から起動し、本文の余白に書き込む



perchpeer — 名簿を Canvas から受け取り、相互評価を配る



perchcoach — 会話の点数を Canvas の評価表へ返す

本体に手を入れないから、アップデートを恐れなくていい。
つなぎ方に経験があるから、本番の授業で止まらない。

引いて分かる、困ったら引ける、触って覚える。

perchguide は、Canvas と連携製品の日本語資料です。人によって、場面によって、知りたい入口は違います。だから 3 つの方式を、すべてそろえました。

01・辞書式

日本語マニュアル

導入・教員・事務局・学生・LTI 接続・移行の系統別に、画面図つきで。キーワードで検索できます。

02・逆引き式

困ったときに引く

「提出できない」「成績が見えない」。症状の言葉から、確認の順序と手順をたどれます。

03・触ってみる方式

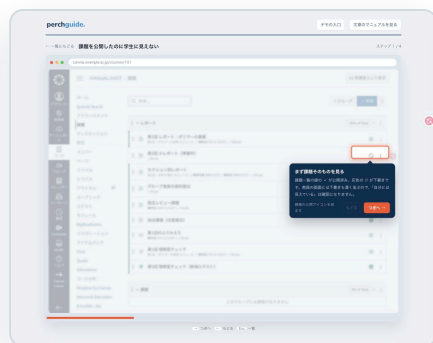
体験デモ

実際の画面で 1 手ずつ。押すところだけが光るので、読まなくても操作が身につきます。

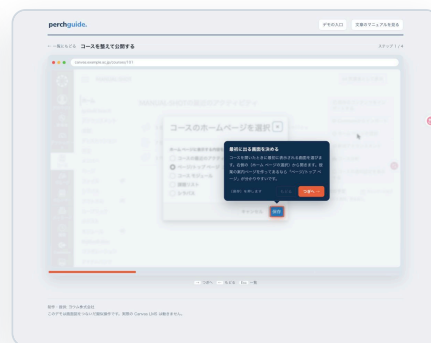
73 ページ (Canvas)



14 本の逆引き集



69 本 (Canvas 57 + EchoVideo 12)



PLUS ONE

さらに、Canvas の画面の中で吹き出しが案内する。

課題を作る、SpeedGrader で採点する、モジュールを組む。いま開いている Canvas の画面の上に、次に押すところを吹き出しで示す「画面の中の使い方ガイド」も開発しています (教員向け 7 本・全 36 手を検証環境で確認済み)。方針はひとつ、**教員のストレスを、徹底的に減らす。**



Canvas LMS

Canvas モバイル (7 章・20 節)

EchoVideo (9 章 + デモ 12 本)

perchadmin

perchnote

perchcoach

perchglide

manaba からの移行

一次切り分けデスク (代理店・サポート向け)

数字は 2026 年 10 月 23 日現在。perchguide は導入校・ご検討校に限定公開しています。大学名や窓口名を差し込んだ学校版も作れます。

モバイルだって、半端じゃない。

Canvas には、使う人ごとに分かれた公式アプリがあります。App Store・Google Play で無料。アカウントは Web 版と同じなので、アプリ用に新しく作る必要はありません。

Canvas Student

学生用。教材を読む、課題を出す、成績とコメントを見る、通知を受け取る

Canvas Teacher

教員・TA 用。SpeedGrader で採点、お知らせの投稿、学生へのメッセージ

Canvas Parent

保護者用。学生の成績や期限を見守る



大学を検索
大学名で探し、いつもの ID で



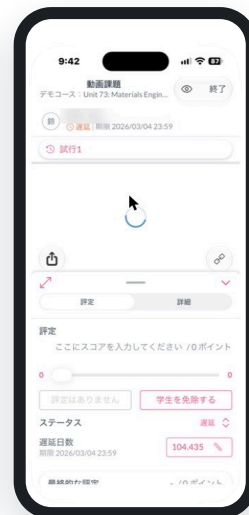
QR コードでログイン
PC 画面のコードを読むだけ



カレンダー
全科目の期限が自動で並ぶ



課題と提出
写真・ファイル・録音で提出



スマホで採点
Canvas Teacher の SpeedGrader

学生は、毎日の確認がアプリで済む

- プッシュ通知で、お知らせ・採点・期限にすぐ気づく
- 手書きの答えはカメラで撮って、そのまま提出
- 講義動画 (EchoVideo) もアプリの中で再生
- ディスカッションへの投稿、教員とのメッセージ

教員は、すきま時間に採点できる

- SpeedGrader で提出物を開き、点数とコメントをその場で
- 音声や動画のコメントも残せる
- 休講などのお知らせを、移動中に投稿
- 未提出の学生だけにメッセージ

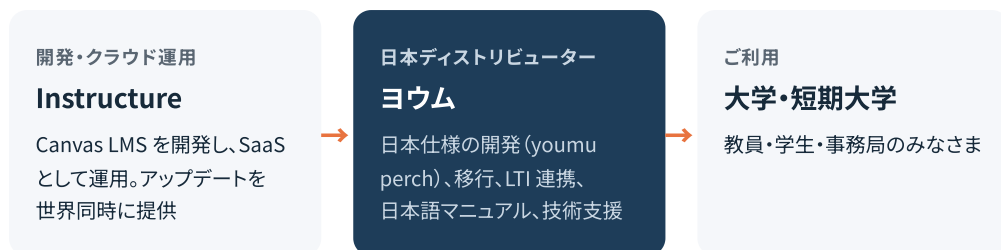
日本の大学の運用に合わせて、使い方まで設計します

- 大学のシングルサインオンで、学生はいつもの ID のまま
- 制限時間付きの試験はパソコンで、などの使い分けを学生向けに案内
- 通知の種類と頻度を、教務の運用に合わせてご提案
- アプリのマニュアルと説明動画を、学校名入りでお渡し可能

アプリの使い方は perchguide の「Canvas モバイルアプリ 日本語マニュアル」と説明動画 (youmu.biz/canvas-lms-jp) で、ログインの方法からアプリでは避けたい場面 (制限時間付きの小テストなど) までご案内しています。画面は実機で撮影し、一部の表示を伏せています。

ヨウムが、導入から運用まで国内で。

ご提案から導入、運用後の技術支援まで、ヨウムが国内で担当します。Canvas の開発元 Instructure 社とは、ヨウムが日本のディストリビューターとして直接つながっています。



01 ご相談・デモ

今の LMS の運用と課題を伺い、実際の Canvas の画面でご覧いただきます。

02 要件の確認・お見積り

教務システムの出力形式、時間割、移行するコース数を確認し、perch シリーズの組み合わせをご提案します。

03 移行と設定

perchshift で教材を移し、perchadmin で教務システムとつながります。並行運用の期間に、先生方に一度使っていただきます。

04 研修と運用

perchguide のマニュアルと体験デモで研修。運用開始後の問い合わせの切り分けも支援します。

製品・技術のお問い合わせ

youmu biz.

Canvas LMS, customized for Japan

ヨウム株式会社

Instructure Canvas LMS 日本ディストリビューター
info@youmu.biz
www.youmu.biz

1. Phil Hill & Associates「State of Higher Ed LMS Market for US and Canada: Year-End 2024 Edition」(2026 年 9 月確認)
2. Instructure プレスリリース「日本大学、Instructure 学修プラットフォーム Canvas 導入決定!」PR TIMES、2024 年 10 月 22 日
3. 中央教育審議会大学分科会「教学マネジメント指針」2020 年 1 月 22 日

画面はヨウムの検証環境で撮影したもので、氏名・提出物・点数はデモ用のデータです。製品の仕様は 2026 年 10 月時点のもので、予告なく変更することがあります。Canvas、Canvas LMS、Canvas Studio、SpeedGrader、MasteryPaths は Instructure, Inc. の商標です。EchoVideo・Echo360 は Echo360, Inc.、Qwickly は Qwickly, Inc.、BioSig-ID は Biometric Signature ID の商標です。manaba、WebClass、Moodle、Google Classroom、App Store、Google Play は各社の商標です。youmu perch および各 perch 製品名はヨウム株式会社の製品名です。